

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・授業について * 授業は、教科書の内容を中心に進め、そこで学んだものを用いて応用的な内容を扱うこともあります。 * 教科書、副教材は毎回必要ですが、その他は教科係から連絡があったものを持ってきて下さい。 * 授業の指示は基本的に英語を用いて進められますので、まずはしっかり英語を聞くようにしましょう。そして、自らも積極的に英語を使っていきましょう。 * 「聞く、読む、話す(やり取り)、話す(発表)、書く」などの授業での活動一つ一つの積み重ねが力となっていきます。それぞれの活動に積極的に取り組んでいきましょう。 * わからないところはそのままにせず、どんどん質問するようにしましょう。 * ペア活動やグループ活動することがあります。誰と組んでも協力できコミュニケーション能力を身につけるようにしましょう。	・家庭学習について * 授業で行ったことの復習をその日のうちにやりましょう。(教科書の音読、ノート作り等) * 復習のほうが大切です。復習が終わったら予習にも取り組みましょう。(単語調べ等) * 宿題は計画的に取り組むようにしましょう。 * NHKラジオ講座やラジオの英語学習番組や、映画、音楽など英語に触れる時間をつくりましょう * ドリルパークを毎日活用しましょう。	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
・試験前はこのような取り組み * 教科書の範囲を音読しましょう。(暗唱できるまで読むと良いです。) * ノートや授業プリントの見直しをしましょう。授業中に書いたことや、単語の意味を確認して下さい。そしてその単語を使って英作文しましょう。 * ワークの問題を繰り返し解きましょう。(一度だけで覚えるのは難しいので、特に間違えたところは繰り返し解きましょう。)	定期テスト 小テスト パフォーマンステスト	定期テスト 小テスト パフォーマンステスト	・振り返りシート ・問題集への取り組み ・ICT教材への取り組み ・ノートやプリントへの記入内容

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
1年	Unit 0 音と文字 5h	Unit 1 動詞 12h	Unit 2 代名詞 疑問詞 12h	Unit 3 疑問詞 12h	Unit 4 命令文 12h	夏休み	Unit 5 前置詞 過去形 12h	まとめ 2h	Unit 6 三人称単数 12h	Unit 7 人称代名詞 疑問詞 10h	Unit 8 現在進行形 10h	Unit 9 want to ~ look ~ 10h	冬休み 4h	まとめ 12h	Unit 10 過去形 12h	Unit 11 There is / are be動詞の過去形 10h	総復習 5h	計140h
2年	Unit 0 過去形 5h	Unit 1 未来の表現 SVOO, SVOC 16h	Unit 2 接続詞 16h	Unit 3 不定詞 16h	夏休み 7h	まとめ 16h	Unit 4 助動詞 16h	Unit 5 疑問詞 16h	Unit 6 比較 16h	まとめ 7h	冬休み 16h	Unit 7 受動態 16h	まとめ 4h	総復習 5h	計140h			
3年	Unit 0 2年生の復習 5h	Unit 1 現在完了 経験 16h	Unit 2 現在完了 完了・継続 16h	Unit 3 it is ~ to ~ 使役動詞 16h	夏休み 8h	まとめ 16h	Unit 4 関係疑問文 分詞 16h	Unit 5 関係代名詞 16h	まとめ 5h	Unit 6 仮定法 16h	冬休み 8h	まとめ 18h	総復習 18h	計140h				